

雪利活用し食料基地守る

「水を考える会」セミナー 吉村氏が講演



水問題を絡め、十勝のSDGsへの提言を行う吉村氏

食料基地北海道と水を考える会(中川郁子代表)は1日、第1回セミナーを帯広市内のとかちプラザで開いた。水の安全保障戦略の専門家で各種メディアでも活躍する吉村和就氏(グローバルウォータ・ジャパン代表)らが講演した。

同会は中川氏の夫、故・中川昭一氏(元財務相)が、2008年発足の「水の安全保障戦略機構」(東京)や自民党の水の安全保障特命委員会の流れを受け、設立。吉村氏は1998年に

国連ニューヨーク本部で環境審議会も経験、水問題において中川氏のブレインとして活躍、同機構技術普及委員長。NHKなどの番組に多数出演している。

セミナーには管内の自治体首長や議長、建設業経営者ら約180人が参加した。中川氏は「ウクライナ侵攻やコロナを経て、食の安全保障が議論されている中、食料基地・十勝を改めて見詰め直したい」と述べた。

吉村氏は「十勝はSDGsで日本最大の食料基地

へ」をテーマに講演。昭一氏の水への熱い思い、温暖化による海面上昇などが農業に与える影響を説明。十勝平野を死守するため水資源と肥料、物流の三つの課題を挙げ、雪捨て場の地下に冷却水配管を敷設し、データセンターの誘致、農産物の出荷時期調整や栽培への活用などを提言した。

前段、銀座テラーグループ(東京)の鰐淵美恵子会長がSDGsの取り組みを話した。(佐藤いづみ)